

田尻だより

平成 20 年
11月号
Vol. 68

次回の田尻便りは
12月1日発行予定!

暮秋の候 田尻は急

に冷え込みが厳しくな
り、冬の気配を否応な
く感じさせられます。

雁音では収穫や新米
出荷などの連日の激務
に加え、この異常な寒
気の影響で、病人が続
出しています。

皆様も風邪など召さ
れませぬよう、くれぐ
れもご自愛下さい。

秋は最も過酷な農繁期。
いすろ 稲刈り人(お父さん)、
イベントで売り続ける人(お母さん)、
会社をきりもりする人(皇貴くん)。



そして、1人育児に追われる私。

〔化女沼ラムサークル登録〕

10月30日、大崎市古

川地区の化女沼けじよぬまがラム

サークル条約登録地とな

りました。これで県内

の登録地は伊豆沼、蕪

栗沼に次いで3箇所目、

大崎市内では2箇所目

になります。

化女沼はヒシクイの

国内最大の越冬地です。

ヒシクイはマガンに似

ていますがやや大きく、

名前はヒシなどの水生

植物をよく食べることに

由来しています。(※)

化女沼の登録申請は、

他の候補地が急遽申請

を取り下げたことから

行きがかり的に始まり

ました。そのため地元

民の意識や協力がまだ

希薄で、調査や申請な

ども蕪栗沼の保護団体

が代行しました。

とはいえ、重要な湿

地であることには変わ

りありません。むしろ

意識が希薄であるから

こそ、ラムサークルとい

うお墨付きが意味をも

つのかもしれませんね。



嫁日記

政府与党が少子化対策の一環として分娩費用の公費負担を導入するというニュースを聞き……かなり疑問。

子育てをしたことがない人が考えたのだろうか。出産よりも育児の方がよっぽどお金がかかるのに。妊婦患者のたらいまわしはあって

はならないが、無計画に出産した後の育児はどう保障するのか。虐待、給食費の未払い、離婚問題…。その全ての被害者は子供なのに。

緊急措置には過大すぎ、抜本改革には片手落ち。税金が上がり生活はさら逼迫するでしょう。国民が十分な生活を送れば、出生率は自ずと上がるはずなのに…。

米 曆 ~こめごよみ~

- 10月3日 稲刈り・乾燥・もみすり
~18日 をしました
- 10月19日 棒がけをしました
- 10月7日 米穀検査をしました
21日
28日

稲刈りはまだ残っていますが、今週あたりには刈り終わる予定です。田んぼにはもう多くの雁がやってきて、落ち穂をついばんでいます。

絵と文/小野寺ひかる

※日本に飛来するヒシクイの仲間は、亜種ヒシクイと亜種オオヒシクイの2種類があります。このうち、化女沼で見られるのは亜種ヒシクイです(亜種とはまだ種として明確に分化していない状態を指します)。ヒシを食べるとはいえ、まだ硬くない未熟なヒシを食べるため、渡来が遅い本州ではヒシを食べる様子を見ることが難しく、水田の落ち穂やマコモなどをよく食べています。